



# 「臥竜鳳雛」



\*タイトルの意味は？調べてみよう

2022・1・14 第55号

学年主任 森本 聡一郎

今年のテーマ：3年間の「自分磨きの旅」を感動に満ちたものにしよう  
最上級生としての自覚ある行動と進路実現への挑戦

今月のテーマ：まだ何も終わっていない。74回生3年間の「総決算」を黒字にするべく、浮かれることなく最後まで努力を心掛けよう。学校や後輩に何が残せるのか一人ひとりが考えて行動せよ！

## 1. 「応援したくなる3年生であれ！」

**受験はこれからが本番。これはリハーサルではない。ましてや店終(みせじま)いの残務整理をしているのではない。この勝負所で力を結束することが我々の宿命！74回生の真価が問われるとき。**

『**艱難辛苦**(かんなんしんく) **汝**(なんじ) **を玉にす**』という成句がありますが、「苦勞があなたを立派な玉にしてくれる」という意味で、人は多くの難題を乗り越えてこそ、立派な人物になるのです。少しは成長できましたか？ 程度の差こそあれ、3年間を過ごすということは、成長していないはずがありません。それが自他ともに求める「成長」だということです。

さて、磨かれた玉(=人物)とはどのようなものか。定義はいろいろあるでしょうが、私なりに思うに、苦しい状況でも他者を見るだけの余裕があるのが「玉」。自分のことや、自分の近辺しか見えずに、自分のことしか語れないのが「石」。つまり、我々凡人のこと。その上で思うのは、この世の中には「玉もあれば石もあればいい」のではなく、「玉も石も両方なければいけない」のだということです。玉石混交(ぎよくせきこんこう)こそがあるべき社会の実相であって、もし、全ての人が玉であったり、全てが石というような同質社会になってしまえば、それは進歩どころか生き残りの可能性まで失われることを意味します。生物多様性の維持が大切であることの裏返しで、同質社会はたった一つの危機で滅び去る危険性を孕(はら)んでいるのです。大体からして、自分が一番愛しているはずの自分自身ばかりでこの世が構成されていたら…。ちょっとしたホラー映画よりも怖い話です。イケメンだけの社会は本当に素敵なののでしょうか。筋肉ムキムキだらけの社会とは本当に強い社会なののでしょうか。

話があらぬ方向に行ってしまいましたが、3年生はどこで成長の跡を示せばいいのでしょうか。答えは一つではありませんから、各自が自分なりに示していけばいいでしょう。ただし、これは絶対と言えることがあります。挨拶です。自然に「おはようございます」「こんにちは」、「失礼します」、「失礼しました」が出てこなくては、積み上げた学力が値打ちを失ってしまいます。はっきり言って滑稽です。卒業の近づいた今、気になって仕方がないのがこのことです。声小さくて、「その挨拶(のつもり)」という人がまだまだ多いように感じます。挨拶すらできない者に至っては、小学生の頃の自分より退化しています。そんなことでは、社会で暮らしている人たちから、「甘ちゃん学生は苦勞が足りないな。もうちょっと修行して出直して来いよ」と笑われそうです。

出席状況も大丈夫ですか。目標を持たないような、だらしない生活になっていませんか？ 心身の健全を保つにも、意識した努力が必要です。だから、気の持ち方というものを意識してください。やむなく病気になった場合は仕方ありませんが、休まなくていいところでポロポロ欠席するような学年は、誰も応援してくれません。爽やかで気持ちのいい挨拶ができる

集団であり続けるように、そして、3月1日には心から「おめでとう」と言ってもらえるように、一人ひとりが安心して生活してください。少なくとも、同級生を裏切るような弱い人間にはならないようにしてください。周囲の人が応援したくなるような背中をもっておきたいものです。

## 2. 「卒業考査の日程」 学ぶ者の成果が問われるとき。ベストを尽くせ！

	1/18 (火)	1/19 (水)	1/20 (木)	1/21 (金)
1限	(普総文系) 日本史B 世界史B (普総理系) 数学	(全員)  国語	(全員)  英語	考査返却
2限	(普総理系)  物理 生物	(普総理系)  化学	学年集会	LHR
3限				床磨き ワックス掛け

※考査は他学年が通常授業中のため、8:50～開始です。  
試験の休憩時間も10分です。  
考査終了後は、他学年の授業の迷惑にならないように  
配慮してください。



### 名言

**人生意気に感ず、功名誰か憚た論せん**

580-643

魏徴（唐代初期の重臣）『唐詩選』より

「意気に感じて行動するならば、結果は問わなくても良い」ということ。

『地位や名誉や金銭的報酬や他人からの評価といったものは、他人に任せておけばよい。成功（こうな）り名を挙げるかどうかが問題なのではない。たとえ失敗したところで構わないのだ』というような理解でいいのでしょうか。また、一銭の金にもならないから、自分が主役でないから、自分だけがしなければならぬのは不公平だから…などと、損得勘定ばかりの計算高い行動をしているようでは人望は得られません。しかし、このような結論もまずいのであって、「人望を得られないから～しない」というのでは、これまた打算的で功利的な行動から脱却できないことになってしまいますね。無謀な行動や冒険主義を奨めるわけではありませんが、若い時期には「心意気」という熱いものがあった方がいいのではないのでしょうか。3か年の締め括りの時期に、クラスや学年や学校を背負って立つくらいの気概を持って行動してください。3年生としての誇りは大切にしましょう。

# 人間ができて はじめて絵ができる

1868—1958  
横山大観（日本画家）

偏差値や技術が何かを為すのではありません。才能が人を操るというのは本末転倒であり滑稽です。スキルやフィジカルでは圧倒的優位であるはずなのに、メンタルの弱さで負けてしまうというのを聞いたことがあるのではないのでしょうか。高校 3 年生の年齢なら、自分自身で経験したことがあるかもしれません。所詮は、人が受験をし、人が試合をするのです。人としての力がなければ、偏差値や技術は力を発揮しようがありません。また、悪しき心が偏差値や技術を酷使するとしたら、想像するだけで恐ろしくなります。

いずれの分野であれ、畏怖（いふ）や尊敬や感謝・感動の念を根底にしなければ、美しい心が美しい作品を生み出したり、強き心が成果となって現れたりしないのではないのでしょうか。邪（よこしま）な心に根ざした才能が真実の花を咲かせることはないのです。そこには誇りの欠片（かけら）も存在しないのです。

高校生の全国大会に出場しているチームのうち、清掃活動を部活動の一環としているチームがどれほど多いことか。それで勝てる保証はありませんが、それができなければ絶対に勝てないということが骨身に染みているからでしょう。やはり、何事であれ、「人」がすることなのでから…。

---

## 大学共通テストに臨むキミ達へ

入試は受験生全員にとって貴重な人生経験の場。そこに合否はあっても勝ち負けはない。共通テストだけでなく、一般入試もいよいよ本番を迎えます。苦しい時期かも知れませんが、多くの人がこの道を歩み、この山を越えていったのです。

合否に関係なく、ここを経験することが社会の何たるかを知り、大人に近づくことになります。いわば、一種の通過儀礼のようなものです。どうせ通らなければならないのなら、「楽しめ！」とは言いませんが、「思いっきりやれ！」です。解答に迷ったら、「自分らしく！」でいいですから。誰かが言っていました、「挑戦することに失敗はない」のですから…。

# 絶対大丈夫

